

そうだったのか! 憲法

The Young Women's
Christian Association

YWCA

SPECIAL ISSUE

知ることから
始めよう



YWCA (ワイ・ダブリュー・シー・エー /
Young Women's Christian Association) は、

キリスト教を基盤に、世界中の女性が
言語や文化の壁を越えて力を合わせ、
女性の社会参画を進め、人権や健康や
環境が守られる平和な世界を実現する
国際NGOです。1855年英国で始まり、
今では日本を含む120あまりの国で、約
2,500万人の女性たちが活動しています。



編集発行人 実生律子

発行所 公益財団法人日本YWCA

〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室
Tel. 03・3292・6121 Fax.03・3292・6122
office-japan@ywca.or.jp

旬の情報を発信中 | www.facebook.com/YWCAjapan

公式サイト | www.ywca.or.jp

2018 spring

無断での複写・転用・転載を禁じます。

けんぼうさん プロフィール

profile



当たり前と思っていた憲法がいつの間にか変わって、
いまの日常が「当たり前」でなくなったら……
知らなかった、そんなはずではなかった、
では遅いかも。
まず、私たちの憲法を知ることから始めよう。

本名

- 日本国憲法
(にほんこくけんぽう)

生年月日

- 1946年11月3日 (公布)、
1947年 5月3日 (施行)

出身

- 日本

ルーツ

- 戦争で日本と世界中の人々に多大な犠牲を与えてしまった反省から生まれた。ボクの中には、世界の人々が何百年もかけて闘って勝ち取った永久の権利が詰まっているよ。

ニックネーム

- 平和憲法 (へいわけんぽう)
平和への決意を宣言する前文と、非戦・非武装を掲げる9条から付けられた。日本の憲法はボクだけだから「けんぼう」と略されているよね。

身長

- 前文から第103条まで全11章

職業

- 立憲主義のスーパーヒーロー
国家の権力を縛り、みんなの自由と人権を守っているよ。国会議員や裁判官、地域の公務員もボクの言うことを守らなければならない。どんな法律よりもボクが絶対。日本の国で一番偉いルールだよ。

理念

- 個人の尊重
一人ひとりがかかけえのない存在として大切にされる社会を達成すること。

三つのお約束

- 1 **基本的人権の尊重**……誰もが生まれながらにして持っている自由や権利を守る。
- 2 **平和主義**……戦争をせず、争いごとは武力ではなく話し合いで解決する。
- 3 **国民主権**……みんなが政治の主人公だから、自分たちのことは自分たちで決める。

好きな言葉

- みんなちがって、みんないい
金子みすゞの詩でおなじみだよ。

特技

- 武力にたよらず、対話で平和をつくること

憲法

そういうことだったのか会議

世の中には「平和憲法をまもろう」、「時代にあわせて変えよう」と叫ぶ人々がいる。自分は、憲法のことじっくり考えたことがない。そこそこ幸せに暮らしたら、それでいい……。でもちょっと気になるので、ざっくばらんに話してみた。



水谷陽子

profile

「明日の自由を守る若手弁護士会」会員。若くて熱い弁護士。



若ろう子

profile

国際NGOで活躍する二児の母。自他ともに認める憲法オタク。



若らん子

profile

中小企業の非正規社員。憲法に興味はないが、社会にモヤモヤがみ。

個人の尊重 私らしく生きる権利



らん子 日本国憲法ね……私には遠い存在に思える。

るろう子 わかる。私も憲法に興味が持てなかった頃はそう思ってた。でも、わりと身近なものなの。私たちが学校に行ったり、結婚したり、仕事したり、自分なりの人生を選べるのは、憲法のおかげだと思う。

らん子 憲法のおかげ？

るろう子 憲法の目的は「個人の人權」を尊重すること。その人らしく生きる自由と権利を保障しているの。

らん子 ……気持ちありがたいけど、イマイチまだピンとこない。

水谷 それなら、日本国憲法ができる前の日本人の暮らしを想像してみて。封建時代は、武士は武士、農民は農民と身分による生き方が決められていま

プト)が書かれている見逃せない箇所です。

改憲案前文

日本国民は、国と郷土を誇りと気概を持って自ら守り、基本的人権を尊重するとともに、和を尊び、家族や社会全体が互いに助け合って国家を形成する。

らん子 どういうこと？

水谷 これはね、一人ひとりの生き方を尊重するはずの憲法が「これが国民の生き方ですよ」と言及しているのです。つまり、国を愛し、家族や社会が助け合って国をつくるのが日本人のあるべき姿ですよ、と言っているようなものです。この改憲案のもとでは、政府が掲げる「日本国民像」に合致しない人々にとっては、生きにくい社会になるでしょう。

らん子 改憲案にそんなことが盛り込

日本国憲法第13条
すべて国民は、個人として尊重される。
改憲案第13条
全ての国民は、人として尊重される。

らん子 どこが変わっているの？

るろう子 よく見て、「個人として尊重」↓「人として尊重」になってる。

らん子 人として尊重されるなら、いいじゃない。ブラックな会社で苦勞している友達に「人として尊重してほしい」と喚んでいるわ。

水谷 小さな違いのようですが、「個人」から「個」が抜けることで「その人らしく」生きることを尊重しないことになります。

らん子 個性が大切にされない？

水谷 まずは改憲案の前文を見てみましょう。前文は、憲法の理念(コンセ

した。明治時代に制定された大日本帝国憲法下では、国が宗教と結びつきながら国民の生き方や道徳を決めて、国民はそれに従わざるを得なかった。国民のために命を捧げることも強制させられました。住む場所も結婚相手も、その家の戸主(父親)が決めていました。特に女性は夫や父親に絶対的に服従しなければならなかったのです。

らん子 その時代に生まれなくてよかった。でも、そんなに昔の話ではないのよね。

水谷 その人らしく生きることを否定され続けてきた反省をもとに、戦後、「二人ひとりの生き方を尊重しよう」という理念で作られたのが日本国憲法なのです。

るろう子 それなのに、憲法が変えられようとしているの。たとえば、国民が自由と幸福になる権利をうたう13条は、自民党の憲法改正草案(以下「改憲案」)ではこう書き替えられているの。

まれていたなんて知らなかった。

自分の生き方を選ぶ権利 家族ってなに？



るう子 まだあるのよ。女性の生き方に直接関わる24条。婚姻、家族生活での個人の尊厳と男女平等を保障しているの。結婚の自由、家庭に縛られず、性別に拘わらず自分なりの生き方を選べるのは、24条があるから。でも改憲案はガラリと変わる。たとえば冒頭にこんな一文が追加されそうなの。

改憲案第24条

家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として、尊重される。家族は、互いに助け合わなければならない。

らん子 家族が助け合っていて悪くないかも。

水谷 家族がお互いに扶養して助け合

いが透けて見えるよう。

水谷 そうです。改憲案は、憲法の位置づけを変えようとしています。

らん子 憲法の位置づけ？

水谷 日本国憲法は「王様を縛る憲法」です。憲法というルールを守るべ

う責任があることを強調することで、社会保障や福祉政策を削減する根拠になり得ます。

らん子 社会保障の削減？ なぜ？

水谷 今の憲法は、家族の一人ひとりに「自分の人生を生きる権利」があると保障しています。そうした個人の尊厳のために、国は家庭を助ける責任があります。それが、改憲案24条のすべての条項を見ると位置づけが逆になっていることが読み取れます。これでは家族の義務を理由に「国に頼らずに家族で助け合って解決しなさい」とされて、子育てや介護などの支援、社会保障や福祉の削減につながりかねない。年金にも影響が出ることが予想されます。

るう子 子育てや介護の負担は女性にのしかかってくる。子育てと介護しながら仕事に出るなんて無理。でも、夫の給料だけじゃやっていけない。

水谷 家族ゆえに問題を抱えている

きなのは、国民ではなく国会議員などの権力者。国家権力が国民を脅かさないように、歯止めをかけるために憲法があります。この考え方を「立憲主義」と言います。改憲案では、それを逆転させようとしています。

人々はさらに深刻です。児童虐待やパートナーからの暴力から逃れて自立した人たちも、家族の扶養義務によって逃れられず、家に縛り付けられてしまっています。

らん子 結婚していない私はどうなるの。「家族」を強調されたら、家族を持つことが普通とされて、独身でいると肩身が狭くなる。それに、国や自治体による婚活圧力がますます激しくなりそう。

るう子 家族の義務……。女性は家事や育児をするものだ、子どもをたくさん産むものだ、という世間の声があります。ますます強くなりそう。

立憲主義

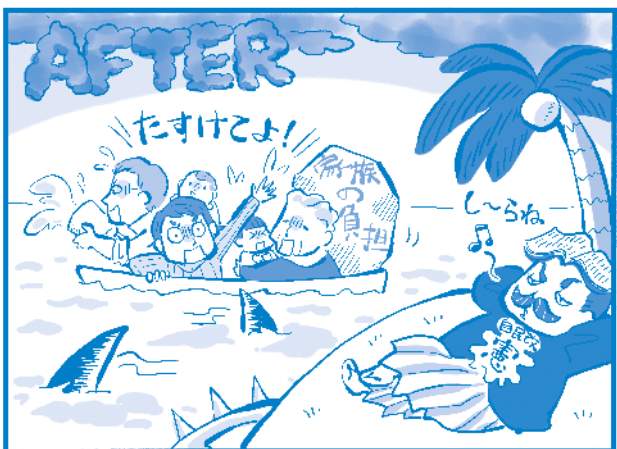
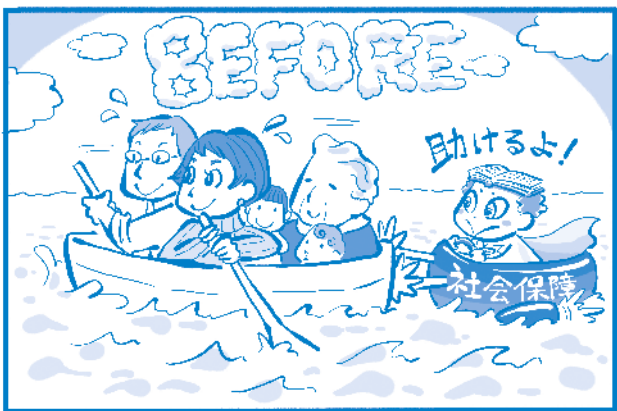
憲法を守るべきは誰？



るう子 一つの条文だけ取り出して見ると大した変化ではないようだけど、複数の条項と併せて見ると、改憲の狙

らん子 ということは、王様を縛るためではなく、国民を縛る憲法になるの？

水谷 その通りです。象徴的なのが、新しく加えられそうな一文です。



日本国憲法第99条

天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

改憲案第102条

全て国民は、この憲法を尊重しなければならない。

らん子 これ「憲法を守るのは国民だ」と言ってるようなものだね。

水谷 ほかにも改憲案に新設された複数の項が、国民を縛るようになっていきます。

緊急事態条項 リアル独裁スイッチ?!



らん子 戦争は絶対にイヤだけど、北朝鮮のミサイルも怖い。ミサイルが落ちてくるのを見ているしかないって、

どうなの？

水谷 武力によって軍事的緊張を高めることで本当に解決できるでしょうか。一番の解決策は対話です。これまで9条があることで、自衛隊の自身について議論がありつつも「戦争放棄」のポーズをとり、諸外国に対して対話をする前提ができていました。改憲すれば「戦争で問題を解決します」とアピールするようなもの。緊張を高めて偶発的な戦争が始まるリスクを高めることになるでしょう。

るう子 緊急事態条項も必要だと思っている若者もいるのよ。

水谷 自民党が新しく加えた98・99条「緊急事態条項」ですね。これほど恐ろしい条項はありません。緊急とされたら、内閣総理大臣に権限が集中し、独裁を許すことになります。

らん子 緊急事態って、やっぱりミサイル攻撃に備えているの？

水谷 自民党は東日本大震災のような

大きな災害があったときに必要だと言っています。でも、災害時に緊急に権限が必要になるのは、内閣ではなく被災地の現場。救急隊員や自治体の人々でしょう。その方が合理的です。内閣に権限は必要ないのです。

るう子 災害時だけに留まらないんじゃないかと思う。

水谷 この改憲案では、内閣だけで法律と同じ力のある決まりを制定できてしまいます。法律は国民が守るべきルールです。本来なら、国会で議論を重ねて制定できるものですが、内閣だけで定めることができます。

るう子 9条を護っても、この99条が実現したら戦争ができるってこと？働いているお父さんが戦地に行くこともあるの？

水谷 国から「緊急だから行きなさい」と言われたら従わざるを得なくなります。

らん子 この条項、切り札みたい。





読み比べてみよう!

「憲法ってそういうことだったのか会議」で触れた今の憲法と自民党の改憲案(一部)を読み比べてみよう。小さな違いが日本の行方を大きく左右するようです。



日本国憲法

前文(一部抜粋)

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに**主権が国民に存することを宣言し**、この憲法を確定する。(中略)日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。

第13条

すべて国民は、**個人として**尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、**公共の福祉に反しない限り**、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

第24条

婚姻は、**両性の合意のみに基いて成立し**、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。
2 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

第99条

天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

自民党日本国憲法改正草案

前文(一部抜粋)

日本国は、長い歴史と固有の文化を持ち、国民統合の象徴である**天皇を戴く国家であつて**、国民主権の下、立法、行政及び司法の三権分立に基づいて**統治される**。

我が国は、先の大戦による荒廃や幾多の大災害を乗り越えて発展し、今や国際社会において重要な地位を占めており、平和主義の下、諸外国との友好関係を増進し、世界の平和と繁栄に貢献する。

日本国民は、**国と郷土を誇りと気概を持って自ら守り**、基本的人権を尊重するとともに、**和を尊び、家族や社会全体が互いに助け合つて**国家を形成する。

第13条

全て国民は、**人として**尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、**公益及び公の秩序に反しない限り**、立法その他の国政の上で、最大限に尊重されなければならない。

第24条

家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として、尊重される。家族は、互いに助け合わなければならない。
2 婚姻は、**両性の合意に基づいて成立し**、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。
3 **家族、扶養、後見**、婚姻及び離婚、財産権、相続並びに親族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

第102条

全て国民は、この憲法を尊重しなければならない。
2 国会議員、国務大臣、裁判官その他の公務員は、この憲法を擁護する義務を負う。

日本国憲法



いつもずっと弱き者の盾

らん子 こんな改憲はイヤだ……でも私、今の社会でも生きづらさを感じる。憲法に守られている実感がないなあ。憲法よりもお金が頼りになるような社会でしょ。

水谷 「今、権利が保障されている」と実感することは難しいかもしれません。人権は、損なわれた時にようやくよく気が付くことができるもの。教育を受ける権利も、働く権利も、憲法によって保障されています。それなのに、お金がなくて教育が受けられない、ブラック企業でも働かざるを得ないというのは、憲法が保障するはずの「人権」が実現されていないからです。
らん子 私の人権、尊重されていない？
水谷 自分の働き方はおかしいと思うのであれば、憲法を盾に声を上げまし

よう。憲法が保障する基本的人権は「人類の多年にわたる自由獲得の努力」によって勝ち取った永久の権利なのです。これを絵に描いた餅にしてはいけません。
らん子 自民党の改憲案が社会で大ブーイングにならないのは、今の憲法の素晴らしさが十分に活かされていないからかも。
水谷 社会が前進するのは、社会の中で困っている人が「困ってます！」と存在を明らかにしていくことから始まります。それが何よりも大事な出発点です。そして声を上げる人を支えるのが憲法なんです。

らん子 憲法って正義の味方、もつといえれば私の味方みたいで心強い。でも日本で一番偉いルールわりに、短い文章で書かれているのね。
水谷 短文に感じられるようですが、そこに普遍的なこと

本日の先生



水谷 陽子

Yoko Mizutani

profile

弁護士(東京弁護士会)
1989年生まれ。2015年弁護士登録。代々木総合法律事務所所属。明日の自由を守る若手弁護士の会のメンバーとして、憲法や人権に関する講師活動に取り組んでいるほか、福島原発被害弁護団やLGBT支援法律家ネットワークなど、人権を擁護するための多彩な活動を行っている。動画サイトに投稿された真摯な街頭スピーチが話題に。

構成 編集部

が書かれているのです。後世の社会の変化にも対応できるように作られているので、それぞれの時代に必要法律を定め、新しい権利を保障することができるのです。本場に必要ない権利のために憲法を変えるなんて。
らん子 憲法が本領発揮したら、みんなが生きやすい社会になりそう。憲法の良さをもっと知って、もつと活かしていきたいな。